

# 東北福祉カレッジ

The northeast welfare college

## 相談支援従事者現任者研修 インターバル実習 受け入れ機関様向け手引き

受講生の方へ

- ・本手引きは、受講生が基幹相談支援センター、委託相談支援事業所または指定特定相談支援事業所にインターバル実習をご依頼するにあたり、受け入れ機関側にご依頼する点検項目などを説明するための手引きです。
- ・受講予定または受講決定通知者は受け入れ予定機関にご依頼の際に、必ず印刷しご提供ください。

実習受け入れ先機関 担当者様

この度は、東北福祉カレッジ 相談支援従事者研修  
受講者様の実習先としてご協力いただき誠にありがとうございます。  
受講者様がお持ちになった、実習課題についてご確認いただきたい点を本紙に記載いたしました。  
ご不明点があれば、お手数をおかけいたしますが下記専用問い合わせアドレスまで  
ご連絡くださいますようお願いいたします。

相談支援従事者研修 実習受け入れ機関様専用アドレス:

[tohoku.soudan.toi@gmail.com](mailto:tohoku.soudan.toi@gmail.com)

ご連絡の際には、機関(事業所)名、実習ご担当者様名を必ずご記載ください。  
受講生より上記アドレスに連絡があった際には、返信はいたしません。

令和7年4月策定 VOL1 東北福祉カレッジ 指導監査課

## 目次

号	内 容	ページ数
1	・はじめに	P3
2	・カリキュラム日程	P3
3	・インターバル期間中の課題の概要	P4
4	・インターバル実習受け入れ機関確認項目【全体共通】	P5
5	・受講生インターバル実習ガイダンスに記載してある注意事項について ・参考資料 インターバル実習 書式一式	P6～P17

### 参考資料

・和歌山県相談支援従事者初任者研修(A) インターバル課題への対応説明書/令和6年度 和歌山県障害福祉課



## 1, はじめに(再掲)

・本手引きは、受講生が基幹相談支援センター、委託相談支援事業所または指定特定相談支援事業所にインターバル実習をご依頼するにあたり、受け入れ機関側にご依頼する点検項目などを説明するための手引きです。

・受講予定または受講決定通知者は受け入れ予定機関にご依頼の際に、必ず印刷しご提供ください。

## 2, カリキュラム日程

日 程	内 容
第 1 回実習	・インターバル1(課題実習①、書式1、1-1)
1 日目	・研修ガイダンス ・講 義:障害福祉政策の現状、相談支援の基本姿勢、意思決定支援について ・演習(事例検討:意思決定支援)
第2回実習	・インターバル1(課題実習①、書式2, 3, 4, 9)
2日目	・講義と演習:チームアプローチ ・講義:スーパービジョン
3日目	・演習:グループスーパービジョン ・講義と演習(コミュニティワーク)

### 留意事項

・実習期間の日数は必ずしも全日程実習先に滞在にて研修をする必要はありません。実習先の都合を考慮し、ご自身のケース記録をアドバイスいただけるようにご調整、ご依頼をしてください。



### 3, インターバル期間中の課題の概要

受講生は第1回および第2回インターバル実習期間中に、協力いただく利用者さんについて実践例を作成します。実習受け入れ機関先様においては、本紙 P4～P23に記載されている点をご確認いただき、受講生の方にアドバイスいただけますようお願いいたします。

#### ・第1回:インターバル実習作成課題

- ・書式1:実践例の概要
- ・書式1-1:ストレングスアセスメント
- ・書式2:エコマップ

#### 留意事項

・課題(1回目) → 受講生が作成します。※受講生専用ページにエクセル版がございます。  
受講生は、実習受け入れ機関様に向けてあらかじめ指示がある内容で発表をします。記載についてのご確認、ご助言をいただきますようお願いいたします。

#### ・第2回:インターバル実習作成課題

- ・【書式3】ヒアリングシート
- ・【書式4】コミュニティワークシート
- ・【書式6】演習・地域実習振り返りシート
- ・【書式9】地域の相談支援体制・(自立支援)協議会について

#### 留意事項

・課題の確認書(2回目) → 受講生は実習受け入れ機関様にご確認いただいた課題を、研修中でグループ発表します。グループワークの中で出された提案を参考に、実践した内容の記載がされています。実習受け入れ機関先様においては、修正された点も含めて再度確認をいただき、受講生の方にアドバイスいただけますようお願いいたします。

#### 4, 実習受け入れ機関様 ご確認項目【全体共通】

	内 容
1	☑書式の全ての枠に漏れなく記載されていること(空欄があった場合は該当する記載内容がない場合は「該当内容なし」「特になし」等を記載するように伝えてください)
2	☑個人を特定できる情報が記載されていないこと ・氏名、住所、関係機関名等
3	☑明らかに不適切な表現がないこと ・人権を侵害するような表現や障害者差別だと思われるような表現がないこと ・本人を無視したような表現を記載していないこと
4	☑現時点において受講生が関わっているケースである

#### 留意事項

※同じ事業所の受講生がコピーした内容を提出していないかにも注意が必要です。  
※各課題については「チェックポイント」を参考資料に直接赤字で記載しています。

#### 5, 受講生向け実習課題ガイダンスに記載してある注意事項について

	内 容	備 考
1	・実践例提出にあたっては本人等の同意を得てください。	
2	・提出様式作成に当たっては、本人等が特定できる可能性のある情報をすべて伏せてください。	1. 本人、家族、関係機関はすべて仮名か記号にすること。(イニシャル不可) 2. 住所は「〇〇市」や「〇〇町(〇〇郡は記載しないこと)」とすること。 3. 生年月日は生年のみ(例:昭和30年)とし、年齢は～歳台としてください。 4. 電話番号は一切記入しないでください。
3	・資源や地域の課題について、よくわからない場合は、自治体や各圏域にある基幹相談支援センター等へ問い合わせをしていただいても構いません。	

#### 留意事項

※受講生には、上記を特に通達しております。実習受け入れ機関先様におかれましても、ご確認いただきますようお願いいたします。

・書式1

事例報告書

事例提供者名

書式1

イニシャル:

性別:

年齢:

障害名(程度)・区分:

福祉サービスの利用状況:

検討したいこと(相談支援専門員が支援の中で困っていること)

チェックポイント:

困っていることや検討してほしい内容を分かりやすく伝えるように記載されているか?

主訴(相談に来た理由、どうしたいか)

チェックポイント:

本人から主訴が記載されているのか?

利用者の特徴

生活歴(どのような生活を送ってきたか、楽しかったこと、興味を持ったこと、悲しかったことなどの

エピソード)

社会的状況(家族関係・友人関係・学校・職場・福祉サービス利用など)

①誰が困っているのか(本人・家族・学校・職場等) \*複数可

②いつ頃から困ったことが生じたのか

③主訴に対して様々な情報から、あなたはどのように解釈したか(見立て)

④検討したいことに対して、あなたはどのように支援をしてきたか(支援経過)

⑤その結果改善されたか

(検討)意思決定支援の展開で気をつけること

--

(検討)検討課題に対して具体的な支援方法

--

・書式1-1 ストレングスアセスメント

書き出し【●】本人の言葉      【○】家族等の言葉      【・】事実や行動(社会資源等)

本人の名前(通称):                      グループ・事例提供者氏名

A 現在のストレングス 私の今のストレングス 個人:環境	B (未来の)希望:願望:熱望 何がしたいか:何が欲しいか	C 過去の資源 どのようなストレングスを使ってきたか
------------------------------------	----------------------------------	-------------------------------

チェックポイント:「本人の言葉」と「家族などの言葉」と「事実や行動」を分けて記載されているか?

家・生活環境 (住居、日常生活、移動手段、行動範囲など)

--	--	--

経済状況

--	--	--

日中活動 (就労、教育、専門知識、通所、通学含む)

--	--	--

社会的支援 (家族、友人との関係、所属、サポートネットワーク、支援的人間関係)

--	--	--

健康状態（快適な状態、受診など医者を含む）

--	--	--

余暇活動（趣味、レクリエーション）

--	--	--

Spirituality 文化 / 生きがい（大事にしていること、人生観、家族観、価値観）

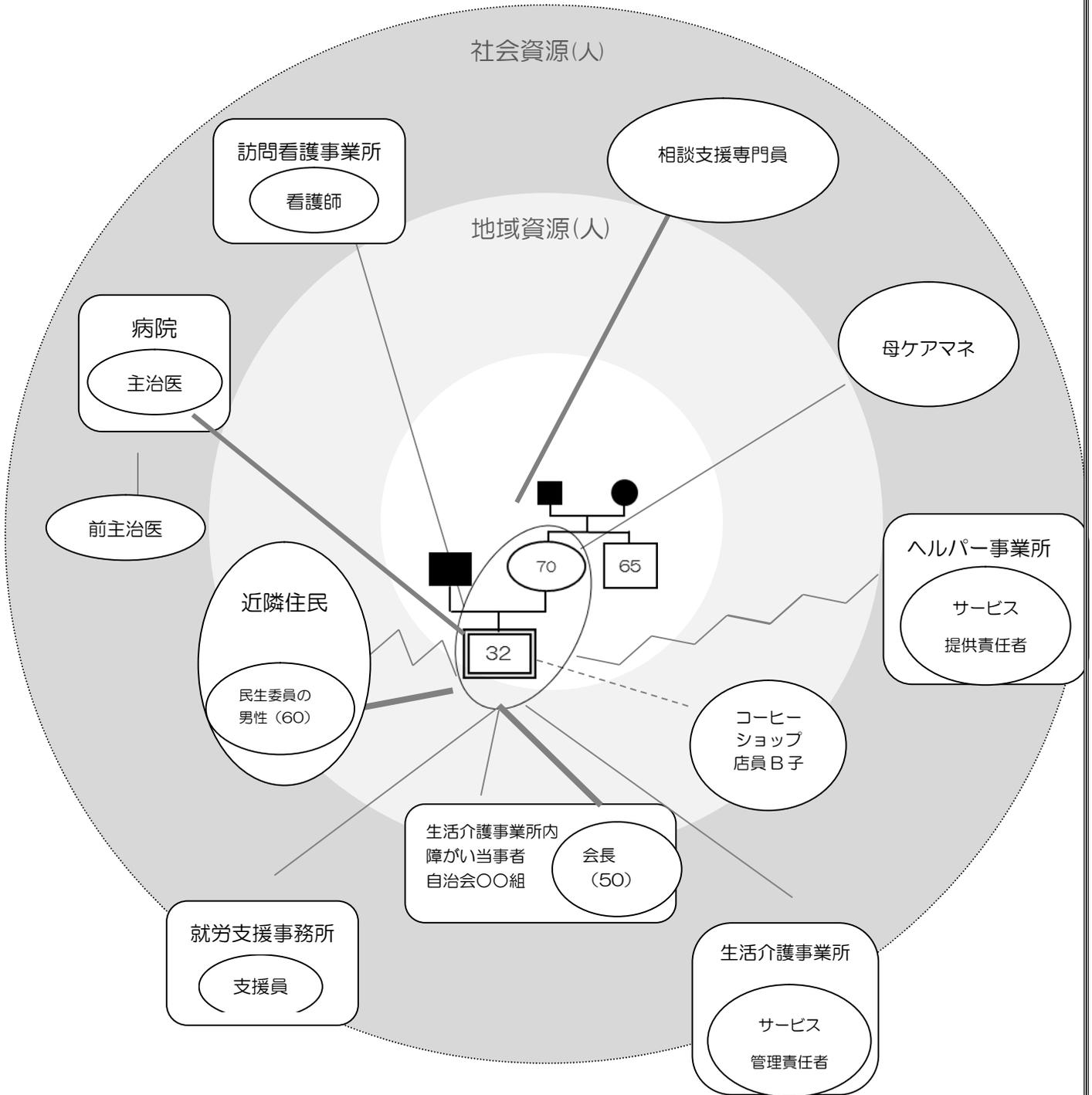
--	--	--

私の希望・願望の優先順位は

- |    |
|----|
| 1) |
| 2) |
| 3) |
| 4) |

追加コメント・わたしを理解するために大切なこと

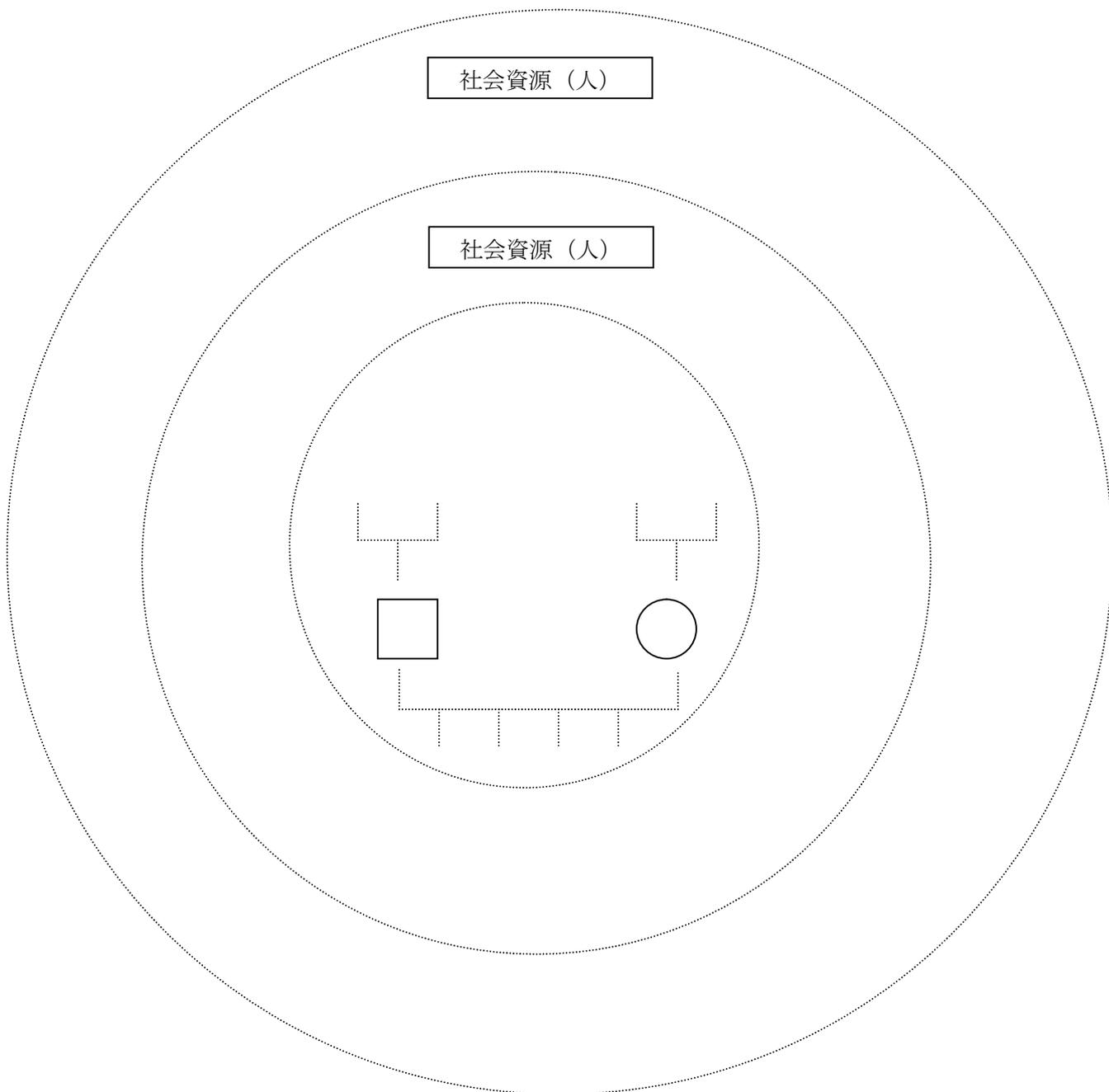
・書式2:エコマップ



受講者名 \_\_\_\_\_

### エコマップ

チームアプローチにおける支援方針	チェックポイント:支援方針の内容として記載されているか?
チームアプローチの展開でこまっていること	チェックポイント:展開で困っていることとして記載されているか?(もし上記の支援方針と同じ内容を記載されている場合はその違いを伝えてください)



<関係> 弱い ← \_\_\_\_\_ → 強い

葛藤

### 書式3:ヒアリングシート

受講者名:

地域変革のためのヒアリングシート(利用者から見た地域の状況)

【1】利用者が参加・所属している地域組織または参加したがっている組織について

組織の名前は？	
どの程度の「参加」か？	
参加しやすい条件整備がなされているか？	
どういう条件を整えば、もっと参加しやすくなるか？	

<注> 自治会・趣味グループ・学校・ファンクラブ・生涯学習グループ・各種<連続>講座・ボランティアグループ

【2】利用者の交友相手<友達>について

どんな関係の人	
利用者の資源になりうるか	
どうしたら資源になるか	

<注> 井戸端会議の相手・同窓生・趣味友達・講座友達・級友・

【3】利用者が所属している当事者組織について

どんな組織に属しているか	
利用者同士の問題解決のために十分機能しているか	
もっと機能するためには、どういう支援が必要か	
利用者はどんな役割を果たしたいか	
その組織は利用者にとってどんな意味があるか	

【4】利用者に(福祉的に)関わっている人や組織・企業(商店)・隣人について

どんな関わりをしてくれているか	
もっとすすんだ関わりをしてもらうには、どんな条件が整備されたらいいのか	
こちらとしてどんな努力をしたらいいか(どんな仕掛けを施したらいいか)	

<注> 行きつけの商店の主が、店頭で親切にしてくれる程度でもいい。

【5】利用者が見込んでいる相手(相談に乗ってくれたり、困った時助けてくれる人) 行きつけの商店・診療所の医師・隣人について

その利用者が見込む相手はどういう条件があるのか	
利用者が見込んでいる人が、見込まれたことをきちんとしているか。	
していないとすれば、それはなぜか	
見込まれたことをその人が実行するには、どういう働き掛けが必要なのか。	

<注> なぜその人を見込んでいるのか。

【6】利用者の親族で、利用者が頼みにしている相手について

その相手は、利用者の期待に添うように行動しているか	
していないとすればそれはなぜか	
どうしたら期待に添うように行動するようになるか	
他の親族はなぜ頼りにならないのか	
どうしたらもっと頼りになる親族になるのか。	

【7】利用者の〈これから戻る〉近隣は、利用者にとっていい近隣か。

どのように頼りになるか	
どのように頼りにならないか	
どんな人材が存在しているか〈世話焼き・口利き・など〉	
もっと頼りになる近隣にするにはどうしたらいいか	

【8】利用者の周囲で、活用できそうな地域資源はあるか。

どんな資源が分布しているか〈いわゆるボランティアや民生委員、福祉推進員だけでなく、世話焼きさんや、保健福祉のプロ、各種公共機関なども〉	
それぞれどんな資源性を持っているか	
それぞれ利用者にどんな資源になりうると思うか	
それらの資源を利用者に振り向けるにはどんな仕掛けが必要か	
それぞれがより強力な資源になるには、どんな仕掛けが必要か	

【9】利用者にとって「隠れた資源」となっているもの〈利用者を元気にさせているもの〉について

あるとすればそれは何か	
-------------	--

<注>特に動植物や自然環境、日常生活の各種グッズ、遊び・スポーツなど、人間以外の資源に着目。

【10】利用者は地域に対して、どんな資源性を有しているか。

資源性とそれが機能している対象を羅列	
利用者が頼りにしている相手に対して、どんな資源性を発揮しているか	
利用者が潜在的に有している資源性は何と何か	
それぞれ誰に対して資源となりうるか	
利用者の資源力を増強させるには、どんな支援が必要か	

<注>隣人の相談相手、同じハンディを持った人の相談相手、趣味グループなどで、ユニークな働きをしている、など。

【11】利用者にとっての資源同士のネットワークの状況はどうか。

これまで挙げられた資源相互の連絡はどの程度なされているようか。お互い(資源同士)、その利用者に関わっていることをどの程度承知しているようであるか	
もっときちんとネットワークができるためには、どんな支援が必要か	

【12】利用者の自宅(居住場所)は、

資源を発掘・活用するのにどのように適しているか、または適していないか	
より多くの資源を発掘・活用するために、どんな環境整備が必要か。(利用者のセルフケアマネジメント能力の開発。自宅の改造。支援者の確保。資金援助など)	

【13】利用者のセルフケアマネジメント能力〈自分の状態を正確に把握・ハンディの中身も客観的に把握・その克服策の工夫・必要な資源を発掘・活用する資質等〉の評価をしてみよう。

セルフケアマネジメント能力の評価	
------------------	--

<注> 人に好かれる〈人が寄って来る〉・自分も人が好き・人の好き嫌いが無い・困ったら困ったと言える・だれにも気軽に助けを求めることができる・助け手を上手に探し出す・お礼の言い方・仕方も上手・人間関係に長けている。自分もお返しができる・自分の〈他人に〉できることを上手に生かす・自分の意思をきちんと伝えられる・コミュニケーション手段を持っているし使える・どこへでも気軽に出かける・人を呼び込む場〈空間〉を確保している・セルフケアマネジメントのための支援者〈秘書?〉を確保している

・書式4:コミュニティワークシート

参考資料

受講者名:

令和6年度相談支援従事者現任研修コミュニティワークシート

<課題説明>

- 事例シートの項目に沿って、「利用者中心としながらインフォーマルな関係性の構築などにつながった事例」について資料の作成をお願いします。
- 添付のデモ事例資料を参考に作成してください。
- 事例作成に際しては、本人の氏名、居住の地域や利用する施設、サービス等が特定されないように、まったく関連性のない名称やアルファベット等に置き換えることにくれぐれもご注意ください。

都道府県名:

受講者氏名:

【事例概要】

【出会い】

【ニーズの把握】

【利用者から見える風景及び置かれている環境(エコマップ)】

【関係性の構築とプロセス及び関係性の変化(アフターエコマップ)】

チェックポイント:モデル事例のように新しく関わった資源を「黒塗り」あるいは別の方法で、増えた資源であることが分かるように作成されているか

【結果】

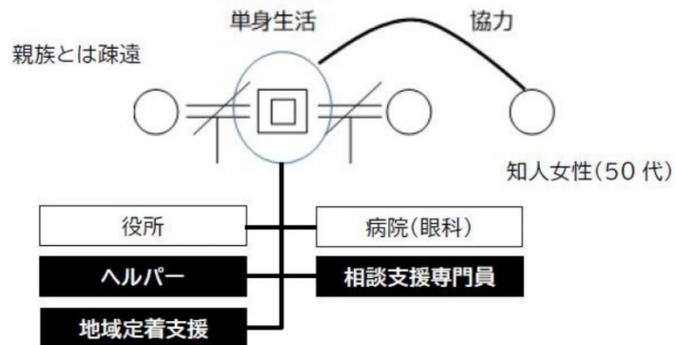
令和5年度相談支援従事者指導者養成研修（地域づくりコース）事例シート（モデル事例）

都道府県名：モデル県	受講者氏名：モデル太郎
<p>【事例概要】</p> <p>Kさん（48歳・男性）、糖尿病性網膜症（視覚障害1級）、単身アパート生活（離婚歴2回あり）で生活保護を受給中。外出することはなく、知人の女性に弁当や買い物をお願いして生活している状況。</p>	
<p>【出会い】</p> <p>若い頃から酒量が多く、30歳代で糖尿病の診断を受ける。40代前半で2回目の離婚をしてから、単身アパート生活となる。その後、40代半ば頃より視力低下が顕著となり電気工事会社の仕事を退職。以後、生活保護を受給しながら暮らしている。</p> <p>これまでは屋内を手探りで何とか生活することができていたが、光が分かる程度に視力低下が進み外出時の危険性が増したため、障害福祉サービスの利用を希望した。そこで相談支援専門員と出会う。</p>	
<p>【ニーズの把握】</p> <p>初回のサービス等利用計画作成時は、生活の安心と安定を目的に家事援助（買い物と調理支援）を月30時間と通院等介助を月に5時間、地域定着支援の支給を受けた。モニタリング期間は毎月の決定を受ける。</p> <p>モニタリングの際に自宅訪問すると、本人はテーブルに顔を伏せ、元気なく迎える状態であった。ヘルパーの支援にはある程度満足しており、生活のしづらさは軽減しているものの、抑うつ感が強く、訪問中も深いため息を吐くことが続く。</p> <p>モニタリングでは、障害福祉サービスの利用満足度を把握することに加えて、ご本人の華の時代の会話に焦点を当てるように意識した。</p> <p>相談支援専門員が関わり始めてから半年を過ぎる頃に、「必要な障害福祉サービスを利用しながら、今のアパートで安心して一人暮らしをしたい」ということと、「同行援護を通じて道を覚え、ゆくゆくは自力で移動できるようになりたい」というニーズに加えて、「何でも話せる仲間を作り、楽しく交流して充実した人生を送りたい」というニーズを把握した。</p>	
<p>【利用者から見える風景及び置かれている環境（エコマップ）】</p> <p>1. 出会いの時点</p> <p>現 状「知人女性、眼科、役所との接点」</p>	
<p>【関係性の構築とプロセス及び関係性の変化（アフターエコマップ）】</p>	

## 2. サービス等利用計画作成時

テーマ「障害福祉サービス関係者との出会い」

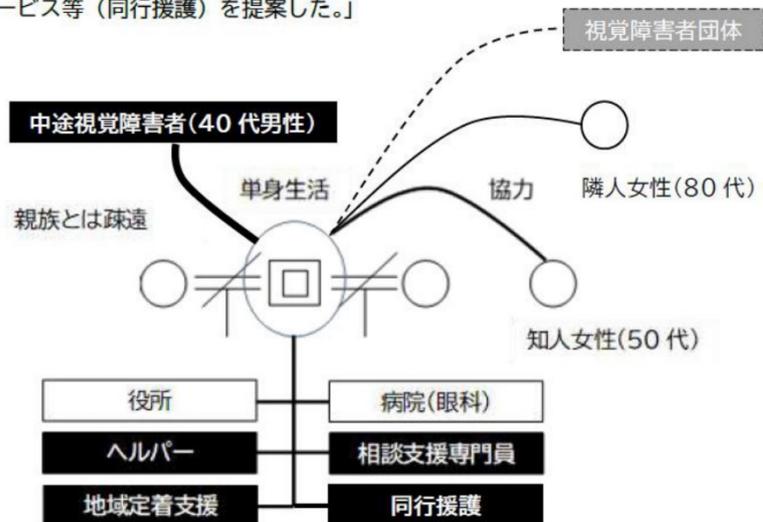
相談支援専門員の想いと支援「生活の安定を図るための障害福祉サービス導入し、モニタリングを通じて信頼関係を構築しながら真のニーズの把握した。」



## 3. 6ヶ月～1年目

テーマ「障害当事者との出会いによる情報量のアップ」

相談支援専門員の想いと支援「ご本人のハートに響く支援のために、同じ立場の障害者との出会いやご近所との接点をつくるとともに、ご本人の気持ちの変化を踏まえて不足しているサービス等（同行援護）を提案した。」



受講者名：

### 演習・地域実習振り返りシート①

#### 1. グループで出された助言について

①自己の振り返りや実践報告・検討を通して確認された支援者自身の気づき・グループメンバーからの助言

②今後取り組む内容

#### 2. 地域実習で取り組んだ内容と効果について

①1-②に記載した内容に対して実際に取り組んだ内容とその効果

②基幹相談支援等との共有内容や助言等

③地域実習期間での気づき・考察

書式9:地域の相談支援体制・(自立支援)協議会について

参考資料

受講者名:

○地域の相談支援体制・(自立支援)協議会について

地域の相談支援体制について(指定特定・委託・基幹が担う役割や機能がどのように整理されているか)

チェックポイント:三層構造の理解をした上で記載されているか?

わが町の(自立支援)協議会の機能・役割・構成について ※構成図添付可

チェックポイント:自分の地域(市町村区)の現状を踏まえた内容を記載されているか?もし自身の地域ではない場合はどこで情報を得られるかを伝えるようにお願いします。

わが町の(自立支援)協議会にて取り組んでいる課題について

あなた自身の(自立支援)協議会への参画状況について